

毎日新聞をご愛読いただきありがとうございます



とうぶ  
まいにち

9月10日(日)は新聞製作が休みのため

11日(月)の朝刊は

休ませていただきます

毎日小学生新聞 スポニチ も休ませていただきます  
なお、スポニチは主要駅の売店などで販売しています

9月10日(日曜日)  
2023年(令和5年)

発行元 埼玉中部毎日会第3支部  
発行所 埼玉県越谷市宮前1-5-19  
(毎日新聞越谷東部販売所内)  
TEL 048-967-4515  
FAX 048-967-4516  
編集長 飯嶋英好  
発行部数 50,000部  
発行エリア 三郷市・草加市・八潮市  
吉川市・越谷市・松伏町

★ニュース速報は、毎日新聞のニュースサイトでご覧いただけます  
URL: <https://mainichi.jp/>

9月11日のテレビ・ラジオ番組欄は10日の朝刊に掲載します

毎日新聞社・毎日新聞販売所

次号10月は  
9日(月)  
発行予定



人気! かかし40体 春日部市増田新田

黄金色に染まった田んぼに趣向をこらした「かかし」がズラリ。春日部市増田新田の農地管理組合の22人が古着を持ち寄り、1か月がかりで仕上げた。7月初めに設置したが、日差しが強くて案山子

の衣類が色褪せるのが悩みとか。お盆休みには東京ナンバーの車が訪れたり、ちょっとした人気スポットに。「案山子づくりが農家、非農家の交流に役立つ」と関根正雄組合長(74)。



税のよろず相談所です

Life & Company Assist

税理士法人

L&Cアシスト

草加市住吉1-4-12-101

048(924)9244



EneCle エネクル

エネルギーで、快適な未来をつくる

堀川産業株式会社



本社 〒340-0014 草加市住吉1-13-10  
<https://www.horikawasangyo.co.jp>



ガス、でんき、灯油、リフォーム、暮らしのご相談はエネクルまで!



秩父の自然を楽しみながら保護活動が続ける「秩父ネイチャークラブ」(清水孝資代表)が「夏休み みんなの自然教室」を開講した。「秩父愛鳥会」や「ほたるの里の会」と地元の矢尾百貨店の協力を得た催しに八月十日から五日間で約千五百人の親子連れが訪れ楽しんだ。

会場はクヌギの木をあしらった小さな森を再現。剥製のツキノワグマやニホンジカなど秩父の山中などに生息する動物が迎えた。生きた標本もあり同クラブの人たちが里山や河川などで捕らえたサワガニやヤマアカガエル、アブラハヤ、ヒキガエル

### ふらり秩父路 自然教室開講

2023・09・10



手作りの筆立てを寄贈した飯島輝男さん  
=右は鈴木勝松伏町長・8月14日写す

よければ執務用に使って下さい。御年90歳の吉川市在住、農業、飯島輝男さんが8月14日、手作りの筆立てを軽ワゴン車に乗せて松伏町役場に駆け付けた。持ち込んだ筆立てはナント250個。

「自宅に伐採した孟宗竹がいっぱいある」。会合でもらした鈴木勝町長に対し、飯島さんが「全職員用の筆立てを作りましょう」と応諾。電動丸のこや紙やすりを使い、高さ20センチほどの筆立てをつくり上げた。「ありがたいの一言です。節を乗り越える竹は職員に人生を教えてくれる」と鈴木町長。

松伏町職員向け  
手作りの筆立て250個寄贈  
吉川市 農業 飯島輝男さん

人気を集めた体験教室はフィッシュカービング、万華鏡作り、植物標本、ランプシェード、野鳥の巣箱作り、藍の絞り染めなど十二のコーナーを設けた。一時間以上も待つコーナーもあり、夏休みや帰省した親子連れで賑わった。



大盛況の「夏休み みんなの自然教室」

岡崎ひろし(元毎日新聞記者・秩父ネイチャークラブ役員)

探鳥会や植物探索、キノコの勉強会、旅する蝶として知られるアサギマダラが好むフジバカマの植栽なども手掛け、秋には飛来して美しい姿が見られそう。



かれんなピンクの花を咲かせるハギ=久喜市の「萩の径」で8月13日撮影(一部合成)

### 秋の気配 ハギの花 久喜市・「萩の径」

久喜市菖蒲総合支所近くを流れる見沼代用水沿いの遊歩道にある「萩の径(はぎのみち)」。8月13日訪れたところ、ピンクの小さな花が散見され、初秋の気配も。

1・5キロに植えられた萩は、約1300株。総合支所の駐車場から歩きながら、ハギの花と稲穂という秋の田園風景が楽しめる。見頃は9月中旬ごろまで。0480-85-1111 総合支所。

ほろほろこぼれて はぎの花  
お寺のお池を うめつくし  
どじょうは風が 吹くたびに  
小さいお空を 見てたとき  
=野口家嗣著「花詩集」・東都書房版より。

総合建設業 新築工事 リフォーム 土木工事全般

## 池中建設株式会社

越谷市東越谷7-141 ☎048-964-3611  
http://www.ikenakakensetsu.co.jp

ISO9001(品質)/ISO 14001(環境) 認証取得  
明日の夢を創る

## TAKAMOTO 高元建設株式会社

代表取締役 高橋和彦

〒343-0811 埼玉県越谷市御殿町2番11号 TEL048-966-1661(代)  
FAX048-962-1661 ホームページ http://www.takamoto-cnst.co.jp/





「草加の川は汚い」  
目指せ汚名返上！

**綾瀬川水系浄化  
運動委員会発会式**

10月7日(土曜)午後2時  
草加市文化会館大ホール



賛同署名者に贈られるバッジ

日本で「汚い川」ワー  
ストワンにランクした  
綾瀬川水系をきれいに！  
古里を愛する地元っ子  
らが立ち上げた市民団  
体「綾瀬川水系浄化運  
動委員会」(卯原義夫  
理事長)が8月8日付  
で一般社団法人化、正  
式に発足した。今後団  
体の趣旨や活動内容等

を記したチラシ6万枚  
を作成。9月下旬ごろ  
に新聞折込として草加  
市内の各世帯に配布、  
広く市民に綾瀬川水系  
浄化運動に対する賛同  
を呼びかける。

綾瀬川水系浄化運動  
委員会の発会式は10月  
7日(土)午後2時、  
草加市文化会館大ホー  
ルで開く。会場で趣旨  
に賛同、署名してくれ  
た来場者には同団体の  
シンボルであるバッジ  
1個Ⅱ写真上Ⅱを呈呈  
する。バッジはきれいな  
川にしか生息しない  
ホタルをモデルとした  
という。



掲げる活動内容は、  
①神明排水機場と辰井  
川排水機場の浄水場化  
②浄水場のきれいな水  
による綾瀬川への放水  
③給水場の設置による  
災害時の飲料水確保  
等。

寄付の振込先は、埼  
玉縣信用金庫草加支店  
普通預金181141  
3 綾瀬川水系浄化運  
動委員会。署名は左の  
QRコードからHPに  
接続。最下部の賛成者  
名簿記入フォームで入

### 別府タワー再び

別府のランドマークと言えば、1957年(昭和32年)に建てられた「別府タワー」。2021年2月の当欄で紹介したとおり、国際観光都市別府に相応しいシンボルタワーだが、一時期、あわや解体かという危機に直面した事がある。

まず、一度目の危機が1987年(昭和62年)のこと。大きな収入源だった広告ネオンの契約が打ち切られ解体か、はたまた存続かで大変な事態になったという。なかなか次の運営会社が見つからず、1年という歳月が過ぎ去って、やっと新しい運営会社が現れ、別府の象徴として、引き続き大勢の観光客を迎え入れてきた。

ところが、2度目の危機が訪れた。それが当欄で紹介した直後のことで、30年以上

引き継いでくれていた運営会社が経営難で音を立て、タワーの売却を決めてしまった。2021年と言えば、新型コロナウイルスで世の中、自粛の嵐が吹き荒れ、巣ごもりを強いられていた時期。当然、別府に来る観光客は激減し、街中は閑散としていた。主に入館料で収入を確保していた運営会社に



大規模改修でライトアップした別府タワー(右下は改修前のタワー)

**帰ってきた祭り**

**37回南越谷阿波踊り**

熱演に拍手と声援



晩夏を彩る南越谷阿波踊り(実行委主催)がコロナ禍を超え、4年ぶりに戻ってきた。南越谷中央通りなど各演舞場でメーンの流し踊りが8月26、27の両日繰り広げられ、沿道に埋めた見物人から熱烈な声援が飛んだ。参加連は、64連。地元連のほか、本場徳島から招待した阿呆連、水玉連、徳島市選抜連らが粋なパフォーマンスを披露、人気を集めた。艶やかな浴衣姿の女性に負けず、男性陣もエネルギー溢る舞を披露したⅡ写真上Ⅱ。

「担任の先生が踊っている姿をみたい」。人込みの中で、母親にこう訴える女子小学生。「よく売れますよ。祭りはいいもんだ」と露店主の笑顔がはじけた。

この時もほんの一時期、解体という危機に直面した。地元企業が次の運営会社として名乗りを上げてくれたのは良いが、新たな活用計画を立てるといふ方針を示したからだ。なかなか情報が発信されず、しばらくは休館状態が続き、その後再開。これで解体は免れたと一安心し、昨年5月には大規模改修工事の計画が突如発表され、工事が始まった。そして今春、工事が終わりリニューアルしたのである。

改修後、どのようにタワーは変わったのか。まず照明を新しくしたことで、様々な色にライトアップできるようにになり、季節や行事に合わせて夕闇には輝き始める。そして高さ。改修前までは90mだったが、避雷針を付け替えて10m高くして、開業当初の100mに戻し、中間デッキにも入場できるようになった。

他にも変わったところはあるが、紙幅の都合で割愛するとして、とにかくコロナ禍後の観光の起爆剤として期待されている。

鈴木源柱(専業主夫・フリーライター)

**本郷屋斎場**

草加市市民福祉葬(市民限定) 実質0円

別館1日葬(ワンデー) 家族葬 29.9万円(税込)

本館1日葬(ワンデー) 家族葬 49.9万円(税込)

きれいな街づくり

**エスシーエス株式会社**

代表取締役社長 野崎 友義

埼玉県草加市青柳2-19-10  
TEL 048-936-1234  
FAX 048-936-3344  
URL http://www.scs-kk.co.jp/

スライドドア車 食品リサイクル車 一般廃棄物収集運搬車



# 買い物難民に朗報!

## 「カスミ移動スーパー」が松伏町を巡回

### 松伏町と(株)カスミが協定

住民の高齢化、個人商店の廃業、路線バスの廃止…。様々な要因から生活必需品を購入できない「買い物難民」が社会問題化するなか、株式会社カスミ(本社・つくば市)が8月21日、松伏町で移動スーパー事業をスタートさせた。既存スーパーから離れた農村部等を移動販売車で定期的に巡り、生鮮食品や生活物資を住民に届ける。同社の伊神里美執行役員は「食べることは生きる喜び。ブドウの香りを感じて店舗と同じ買い物感を楽しんでも」と話す。

買い物に困難を感じている町民を支援するため、松伏町とカスミは5月15日、町内での移動販売(移動スーパー)を実施する協定を締結した。締結には、移動販売車のスタッフによる地域の見守り活動も盛り込まれた。

締結後、町では自治会や神社、福祉施設などの協力を仰ぎ、移動販売事業の具体化を進めた。

計画では、移動スーパーの販売場所は、魚沼、築比地、金杉、大川戸、田島、松伏、田中、上赤岩、下赤岩の30カ所。場所は集会所やお寺、公園、老人ホーム等で、販売時間は週2回、約15分となっている。

8月21日の出発式で、鈴木町長は「町内で7、8年前から買物難民が問題となり、(先進地の)宮代町長から話を聞き実施を決めた。運転免許証を返納した人からも要望があり、これから持続可能な事業に充実、発展させたい」と話した。



(後列右から) 鈴木勝町長と伊神里美カスミ執行役員

カスミ側によると、軽トラックに積み込む商品は約1400点。魚、肉、納豆、ヨーグルト、アイス、野菜、果物などで、

### 市長説明

#### 越谷市

市長に対する市内の各部課が説明していた紙ベースについて、越谷市は7月1日、原則的に廃止した。ペーパーレス化でDXの推進とコスト削減、CO2排出量削減を狙い。いまは職員が大型画面で政策や事業内容を説明。要点を整理したデータは秘書課と市長の双方の端末機に保存する。「従来の破棄・整理の手間が省け、能率が上がる。ペーパーレス化を全庁内に広げたい」と福田晃市長。



ヒガンバナ

10月25日〜29日 越谷コミセン展示ホール  
**第51回 越谷美術協会公募展**

#### 越谷美術協会主催

越谷美術協会主催、越谷市施設管理公社共催の第51回越谷美術協会公募展が10月25日(水)〜29日(日)の5日間、越谷コミュニティセンター(ポルティコホール)で開催される。

後援が市・市議会・市教委・市文化連盟・とうぶまいにち新聞社などで、開場は午前10時〜午後5時(最終日午後4時)までとなっている。入場は無料。応募資格は会員及び市内在住・在勤・在学の18歳以上の方。部門は日本画・油彩画・水彩画・水墨画・パステル画・アクリル画等で、壁面に展示可能。作品は10月10日まで投函。搬入は10月24日午前9時半から10時半で、出品料は会員1000円、一般2000円。一般の初出品者は事務局(048・976・8058)へ

## (有)飯島工務店

新築工事業  
リフォーム一般

代表 飯島輝男

〒342-0015 埼玉県吉川市中井三二一  
Tel 048-982-1409 fax 048-982-1404

### あしがき

「右派やリベラル系政党から民族主義的政党に至るまで、少しでもカリスマ性を持つていような指導者はみな死んでしまうか、ロシア国外に逃れるか、服従を余儀なくされた」

文庫本「プーチンの実像〜孤高の「皇帝」の知られざる真実」(朝日新聞国際報道部著)で、「消えていった政敵」の項目として記されている。編集長 飯嶋英好



中華麺製造卸と中華料理店の展開  
関東一円で愛され続けて九十年!  
**株式会社 珍来 総本店**  
事務所: 〒340-0801 埼玉県八潮市八條 1512-1  
TEL: 048-997-3726  
URL: <http://www.chinrai.co.jp>